

環境監視結果（平成27年度）のお知らせ

当社は、平成25年3月11日（金）から酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験発電所建設工事を着工しておりますが、工事中および実証試験（運転）開始後における環境への影響につきまして、「酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験発電所設置環境影響評価書」に基づき、監視を行うとともに、その結果を毎年取りまとめることとしています。

このたび、平成27年度の環境監視結果を取りまとめましたのでお知らせいたします。

当社は、今後も環境監視を確実にを行い、周辺環境の保全に勤めながら工事を進めてまいります。

工事中の環境監視結果（平成27年度）

■大気・水環境

項目		基準	結果（最大値）
大気環境	工事用車両台数（台/日）	—	336
	騒音（dB）	85以下	70
	振動（dB）	75以下	30未満
水環境	浮遊物質（mg/L）	200以下	84

■産業廃棄物

種類	発生量(t)	処分量(t)	処分方法
汚泥	32.9	1.8/31.1	有効利用/焼却
廃酸	15.6	15.6	有効利用
廃油（特管産廃含む）	1	1	有効利用
廃プラスチック類	246	170/76	有効利用/埋立
紙くず	47.6	45.5/2.1	有効利用/破砕
木くず	918	917/1	有効利用/破砕
繊維くず	0.98	0.98	有効利用
金属くず	518	517/1	有効利用/溶融
ガラス・陶磁器くず	331	14/317	有効利用/埋立
コンクリート破片・がれき類	1372	1325/47	有効利用/埋立
鋳さい	0.8	0.29/0.51	有効利用/溶融
混合廃棄物	12.9	12.9	破砕

■動物・植物

種類	状況
植物	カワチシャ 移植地に定着していることを確認しました。

添付資料

- 酸素吹石炭ガス化複合発電実証試験発電所設置計画環境影響評価書のあらまし

以 上

お問い合わせ先
大崎クールジェン株式会社
総務企画部総務グループ
TEL:0846-67-5250